

**社会人として働くイメージを漢字1文字で表すと「生」。
 “働くこと”を“生きること”に結びつけて考えている学生が多数。**

— 「[en]学生の就職情報」 2015年度就職・採用活動 12月度調査報告 —

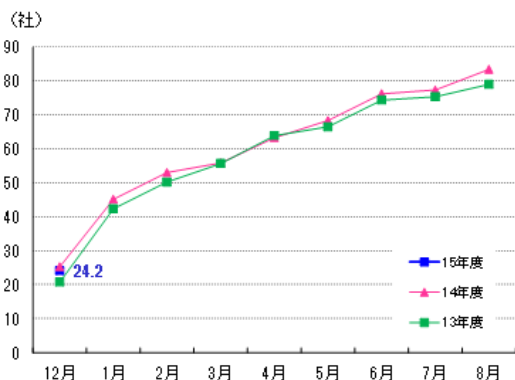
人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』（<http://gakusei.en-japan.com/>）は、2015年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2015年度新卒採用 就職・採用活動アンケート』を実施いたしました。以下、概要をご報告いたします。

■ 調査結果詳細

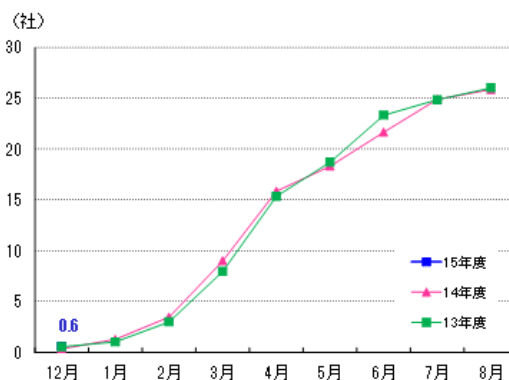
1：学生の平均エントリー数は、前年並みの24.2社。（図1～3）

学生の平均エントリー社数は24.2社（前年：25.3社）となり、ほぼ14年度並みとなりました。また、エントリー提出者数、説明会予約社数、説明会参加社数も14年度並みとなっています。

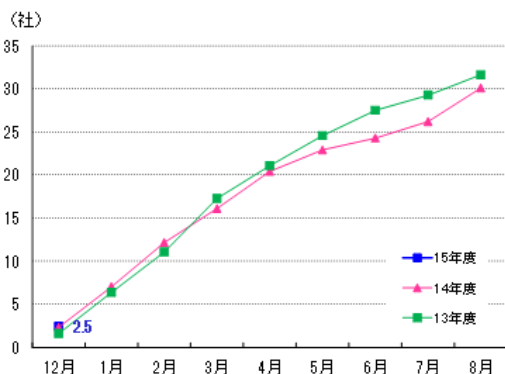
【図1】エントリー社数（3カ年比）



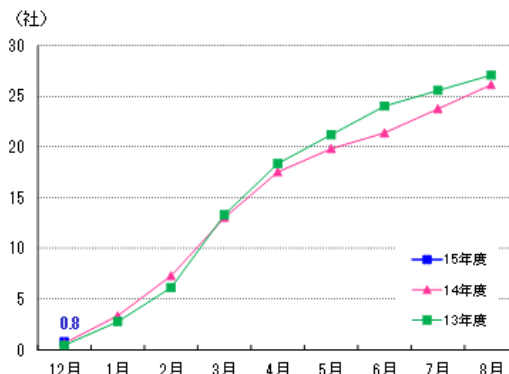
【図2】エントリーシート提出社数（3カ年比）



【図3】説明会予約社数（3カ年比）



【図4】説明会参加社数（3カ年比）

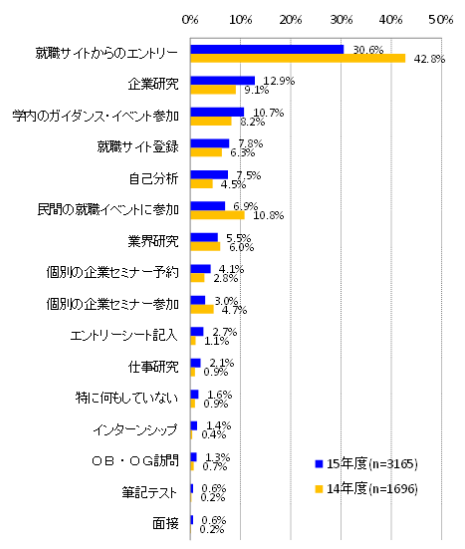


2：学生の12月の活動内容は、「就職サイトからのエントリー」。 現在の悩みは「漠然とした不安や焦り」。(図5、6、学生の声1)

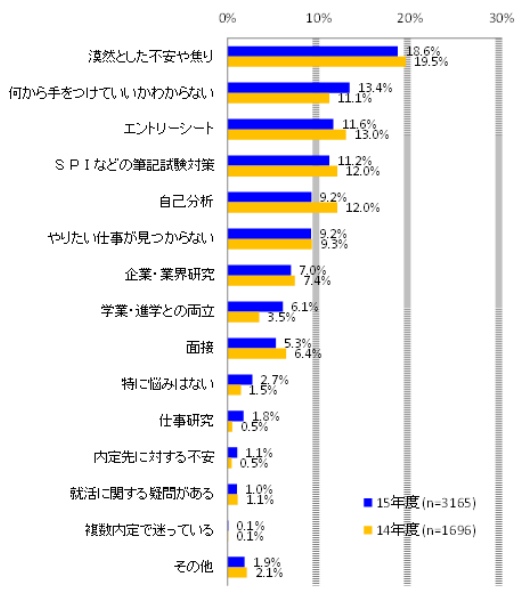
12月の活動内容は「就職サイトからのエントリー」が30.6%で最多となりました。学生のエントリー社数自体は14年度とほぼ同じであるものの、12月の活動内容として「企業研究」「学内のガイダンス・イベント参加」「自己分析」に取り組んでいると回答した学生の割合が14年度よりも高くなっていることから、エントリーに向けた準備が整っていないまま、エントリーを行っている状況がうかがえる結果となりました。

現在の悩みは「漠然とした不安や焦り」が最多で、18.6%と14年度並みとなっています。このほか、「何から手を付けていいかわからない」「やりたい仕事が見つからない」が続きました。

【図5】12月の活動内容（前年比）



【図6】12月の悩み



【学生の声1】現在の悩み（理由）

<漠然とした不安や焦り>

- ・まだ自分のやりたいことがはっきり決まらず、また就職活動という未知なものに対する漠然とした不安があります。(文系/男性)
- ・自分が今まで特に就活のために準備してきたわけではないので、突然就活を始めてくださいと大海原に放り出されたような気分になっているから。(文系/女性)
- ・本当に就職できるのかわからないため。周りの学生の動向が気になるため。(理系/男性)

<何から手を付けていいかわからない>

- ・やることがたくさんあるのは分かりますが、その中で優先順位の付け方が分からなく、何から手を付けていいのかわからない状態になっています。(文系/女性)
- ・就職活動が始まった実感が湧かず、自分が就職した姿も思い浮かべることができずただ毎日漠然とした不安を抱えて過ごしている。(文系/男性)

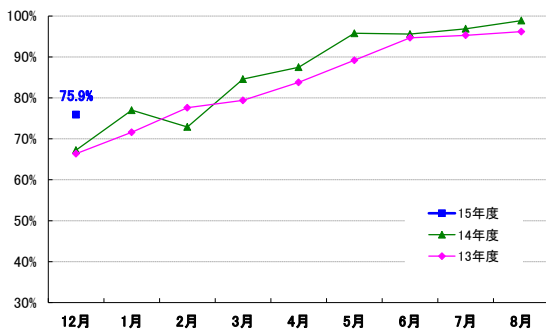
<エントリーシート>

- ・企業によって質問項目の内容が違うので、考えるのが大変。(文系/女性)
- ・どのように書いたらいいのか理解できていないから。(文系/男性)

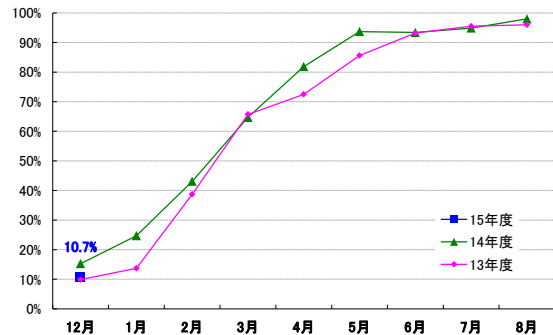
3：エントリー受付開始率は75.9%。この3年間で最も高い開始率。 企業の悩みは、先月に引き続き「母集団形成」。(図7～9、企業の声1)

企業のエントリー開始率は75.9%で、直近3年間で最も高い開始率となりました。また、最も多くの企業が悩んでいることは「母集団形成」となっており、14年度に比べ増加しています。「母集団形成」に悩みを感じている企業が多いことから、14年度よりも早期にエントリー受付を開始し、学生を集めようとしている状況がわかる結果となりました。

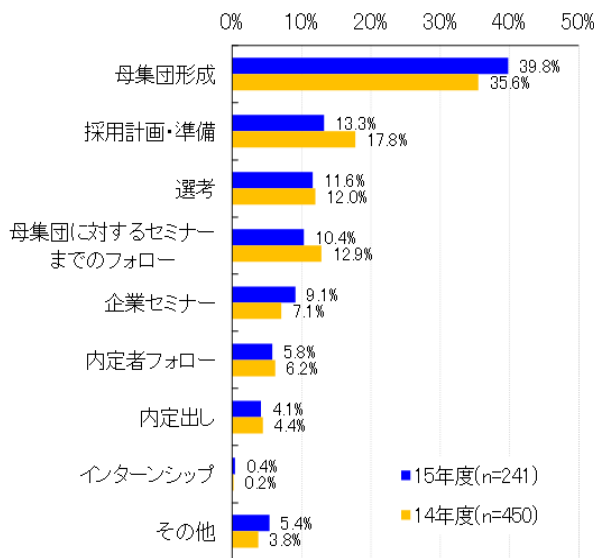
【図7】エントリー受付開始率（3カ年比）



【図8】説明会開始率（3カ年比）



【図9】12月の悩み（理由）



【企業の声1】現在の悩み（理由）

<母集団形成>

- ・自社のターゲットとする学生の母集団形成に苦戦しています。(情報・通信/300名～1000名/関東)
- ・エントリー数の激減のため。
(情報・通信/300名未満/関東)
- ・エントリー数からの説明会予約者が少ないこと。
(その他/300名未満/関東)

<採用計画・準備>

- ・人事部の人数が少ないので、いかに効率良くよりよい採用フォローが構築できるか。
(マスコミ/300名～1000名/関東)

<選考>

- ・採用担当が兼務の仕事なので大変。
(流通・小売/1001名～3000名/関東)
- ・自社に合った人材の選考方法。
(メーカー/300名～1000名/東海)

<選考>

- ・こちらの期待する人物像にマッチするかどうか見極めるための選考方法がよく分からない。
(情報・通信/300名未満/関東)

<企業セミナー>

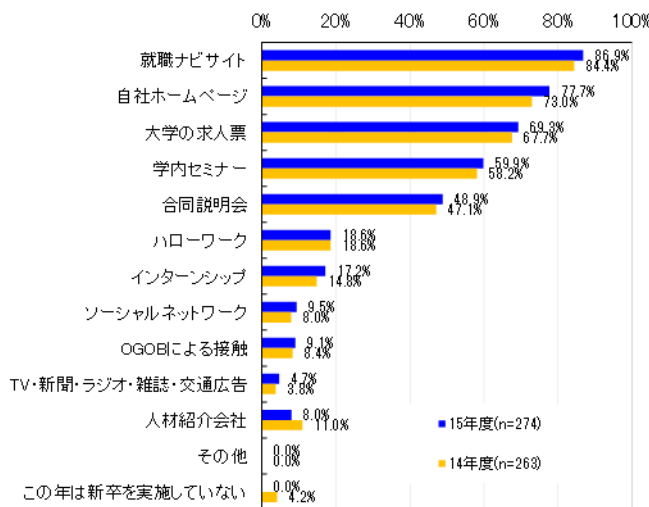
- ・当社の魅力+求める人物+入社後の期待など、如何にわかりやすく伝えられるかが勝負の分かれ目だから。
(流通・小売/300名未満/近畿)

4：母集団形成の方法は「就職ナビサイト」「自社ホームページ」など。 昨年よりも、これらを活用して母集団形成を行う企業が増加。（図10、企業の声2）

母集団形成の手段として、15年度の採用で企業が実施している（する予定）のものは、「就職ナビサイト」「自社ホームページ」が上位となり、15年度の方が14年度採用よりも「実施している（する予定）」のものが多く挙げられました。

母集団形成方法で去年から変更した点としては、「就職ナビを1社から2社にした」「オープンセミナーを昨年よりも開催数を増やした」などがコメントとしてありました。各社母集団形成に向けた動きを強化している様子が見えます。

【図10】母集団形成の手段として実施している（する予定）のもの※前年比



【企業の声2】母集団形成方法で去年から変更した点、自社で工夫している点

<広報手段の増加>

- ・就職ナビを1社から2社にした。（メーカー／300名～1000名／関東）
- ・初期母集団形成においての積極的なDM配信。初期合説における「気づかせる・おもしろそう」という印象付けのDVD導入。社長セミナー参加への積極的アピール。（サービス／300名～1000名／関東）
- ・10名以内の会社説明会を数多く開催する事で応募者の数を増やしています。（商社／300名未満／関東）
- ・オープンセミナーの積極実施、150回程度。（金融／1001名～3000名／関東）

<自社理解の促進>

- ・選考前に、業界を知るためのステップを複数用意し、役員、事業責任者、若手社員、採用担当それぞれの立場で、事業の魅力伝える機会を設けている。学生には、興味のある回にだけ参加すれば良いと参加しやすい環境を用意している。（メーカー／3001名～／関東）
- ・身の丈にあったこと確実に、比較的独自性を持つ事業であるため、その点をアピールしている。50名以下の事業規模なので全社で取り組む。リクルーティング以外にも、社内環境の改善(人事、給与制度の見直し)や既存従業員のビジネス研修(エンカレッジ)などを実施。（メーカー／300名未満／関東）
- ・仕事内容を理解してもらう機会を増やそうと、動画配信をした。（メーカー／1001名～3000名／関東）
- ・不人気業界だとナビではその業界を隠しがちであるが、逆に全面に出し、ギャップを減らすことで歩留まりの改善をしている。（サービス／1001名～3000名／関東）
- ・会った学生さんには出来るだけありのままの会社を知ってもらうように、社員と交流できる場を説明会で設けている。その他／300名未満／関東）

<インターンシップ>

- ・インターンシップの導入。（サービス／300名未満／関東）

<学生目線での対応>

- ・就職活動中の学生や大学等の就職関連者は全て我々の大事なお客様と言う気持ちで対応すること、相手の気持ちになってどうすれば相手の満足感を満たせるかを考えて行動する。（メーカー／300名～1000名／関東）
- ・エントリーしてくれた学生さんにはこまめにメッセージを送り、関心を持ってもらうようにしている。（メーカー／300名～1000名／関東）

<採用体制の強化>

- ・社員の魅力だとして、次世代採用メンバーへの引き継ぎ。（サービス／300名未満／近畿）

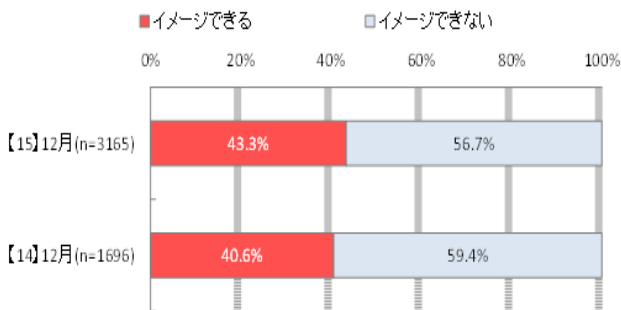
5：社会人として働くイメージを漢字1文字で表すと「生」。（図11、12、学生の声3、4）

自身が社会人として働く姿を「イメージできる」と回答した学生は43.3%（前年：40.6%）とほぼ14年度並みとなりました。

また、社会人として働く姿を表す漢字一文字を聞いたところ「生」と回答した学生が最も多くなりました。「生きるために働くから」「仕事には、生きるために必要なものがつまっている」からなど、「働くこと」を「生きること」に結びつけて考えている学生が多いようです。

【図11】社会人として働くイメージ(前年比)

【学生の声3】社会人として働くイメージを持てる理由



- ・アルバイトの経験があるため、自分が働くところは想像できる。（文系/女性）
- ・合説にて、働いてる姿の説明をもらい、自分に照らし合わせて考えられたから。（理系/男性）
- ・イメージできなければ先のことが考えられないと思うから。人生設計を考えるうえで大事だと思う。（文系/女性）
- ・インターンに参加したから。（理系/男性）
- ・企業研究や会社説明会で同じ業種の色んな会社の方々の話を聞くことでどんどんイメージが湧いてきている。（文系/男性）

【図12】社会人として働くイメージ

【学生の声4】その漢字を選んだ理由

～イメージに当てはまる漢字一文字 上位10位まで～

イメージする漢字	回答数
生	206
責	132
忙	91
耐	83
苦	81
学	58
努	50
楽	48
活	48
挑	48
任	48

<生>

- ・生きて行くために必要なものが全部詰まってると思うし生涯続けて行くものだから。（文系/男性）
- ・一人で生計を立てるから。生きるために働く。同時に、生き甲斐になると思うから。（文系/女性）
- ・生きるために、働くから。これから先の不確実な将来を生き抜くから。（文系/男性）

<責>

- ・今まで育った環境に自分が能力を還元する責任があるため。（理系/男性）
- ・働くということには責任が伴うということと、働くということ自体社会人の責任であると思うので「責任」の責という漢字にした。（文系/女性）

<忙>

- ・とにかく、忙しそうだなと思った。（文系/男性）
- ・社会人として忙しいくらいに働きたいし、現在よりも忙しくなるだろうから。多忙で充実した生活を送りたい。（文系/女性）

<耐>

- ・ストレスや能力不足など色々耐えるべきものが多そうだから。（理系/男性）
- ・毎日大変なイメージで、朝の通勤ラッシュから夜の残業まで耐え忍ぶ連続だと思っています。（文系/女性）

【調査概要】

「学生調査」

調査対象：「[en]学生の就職情報2015」に登録するモニター学生
 調査期間：2013年12月6日～12月16日
 調査方法：E-mailによるWeb投票画面の配信
 有効回答数：3165名

■男女

女性	男性
67.0%	33.0%

■文理

文系	理系
75.3%	24.7%

■学校区分1

四年制大学	大学院	その他
88.2%	9.2%	2.6%

■学校区分2

私立	国立	公立	その他
79.1%	16.0%	4.7%	0.2%

■在籍地域

北海道	東北	関東	甲信越	東海・中部	近畿	中国	四国	九州	海外
1.5%	3.1%	54.0%	1.2%	10.2%	23.2%	1.8%	0.9%	3.5%	0.6%

「企業調査」

調査対象：【[en]学生の就職情報パートナーズNEWS】ご登録のご担当者様
 調査期間：2013年12月6日～12月16日
 調査方法：E-mailによるWeb投票画面の配信
 有効回答数：314件

■本社所在地

東北・北海道	北陸	関東	甲信越	東海	四国	中国	近畿	九州・沖縄
1.0%	1.0%	58.6%	1.0%	16.9%	1.6%	1.3%	17.2%	1.6%

■企業規模

300名未満	300～1000名未満	1000～3000名未満	3000名以上
59.2%	26.4%	10.5%	3.8%

■業種区分

メーカー	商社	流通・小売	金融	マスコミ	情報・通信	サービス	その他
27.7%	16.2%	7.0%	1.6%	3.8%	19.1%	15.6%	8.9%

【その他の調査項目】

※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

「学生調査」

志望業種、志望職種、現時点での志望する企業規模（男女文理別）

※この調査は一般財団法人エン人財教育センターから委託を受け、エン・ジャパンが実施しました。
 また、エン人財教育センターの許可をうけ、エン・ジャパンが発表を行っております。